

全国一斉奨学金返済問題ホットライン

■実施概要

実施期間
実施弁護士会数

2013年2月1日を中心とした日程
44弁護士会
(39弁護士会は全国统一電話番号(フリーダイヤル)で実施, 5会は独自番号で実施)

■実施結果

回答のあった弁護士会数

44弁護士会

1 合計相談件数

453件

(参考)これまで日弁連貧困問題対策本部が実施したホットライン等一覧

	実施日	名称	相談件数
2006年	6月30日・7月1日	全国一斉生活保護110番	634
2007年	11月8日	全国一斉生活保護110番	約550
2008年	6月	非正規労働・生活保護ホットライン	約1300
2009年	3月9日	派遣切り・雇い止めホットライン	1000超
	7月4日～8月7日	雇用と生活 全国一斉無料法律相談会	約1800
	11月26日	子ども・女性・ひとり親世帯生活ホットライン	約700
	12月1日～12月25日	年末年越し『雇用と生活』全国一斉緊急総合相談	1000超
2010年	6月	子どもの貧困生活費・教育費ホットライン	548
	12月1日	雇用と生活ホットライン	1534
2011年	6月24日	雇用と生活問題ホットライン	303
2012年	11月28日	全国一斉生活保護ホットライン	1832

2 相談態勢

弁護士 281 他協力者 4 (高校教員, なかまユニオン)

3 奨学金利用者の内訳(各弁護士会の回答の合計)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
8	106	114	45	15	18	8	139	453
1.8%	23.4%	25.2%	9.9%	3.3%	4.0%	1.8%	30.7%	100.0%

4 相談者の属性(奨学金利用者との関係)※不明分を除く

本人	連帯保証人	保証人	その他	合計
128	111	36	115	390
32.8%	28.5%	9.2%	29.5%	100.0%

5 奨学金の種類※不明分を除く

無利子(第1種)	有利子(第2種)	合計
122	142	264

6 相談結果※不明分を除く

終了	継続相談又は受任	後日、必要な場合のために、相談担当者の連絡先を伝えた。	他機関紹介	その他
303	20	17	46	19

(主な紹介先)
・弁護士会, 法律事務所, 社会福祉協議会, なかまユニオン, 奨学金連絡会, 法テラス等。

7 相談の内容※不明分を除く

1. 低収入, 非正規, 病気, 失業などで生活が厳しく返済できない	2. 延滞金が多く困っている	3. 制度上の救済方法を申し込んだが認めてくれない				4. 分割返還に応じたくない	5. 貸主・サービサーからの請求が厳しくて困っている	6. 裁判所から支払督促・訴状が送られてきた	7. 他にも借金を抱えていて払えない	8. その他
		①返還金猶予	②延滞金減免	③減額返還	④その他					
191	30	5	4	2	15	3	2	4	16	23

8 主な相談の具体的な内容

①低収入、非正規、病気、失業などで生活が厳しく返済できない	大学院博士課程に在学。650万円の無利子奨学金がある。就職先がなく、返済の見込みがない。
	(利用者の祖父からの相談)失業及び通院加療中のため返済ができない。連帯保証人が亡くなったため、別の連帯保証人をたてるように言われているが、なり手がいない。
	(母親からの相談)子どもが今年の3月に大学を卒業予定であるが、病気のため就職できず返済ができない。
	(利用者の親からの相談)息子が奨学金を受け、4年生大学を卒業したものの、卒業後、病気のため失職。まだ延滞していないが、元金が残っている。どうしたらいいか。
	(本人からの相談)学校卒業後の就職先が決まっておらず、このままだと返済ができそうにないが、猶予制度について教えてほしい。
	(利用者の親からの相談)娘について、短期大学時の奨学金の残債がある。
	(利用者の親からの相談)本人が病気により、収入減。相談者が返済しているが、年金生活で支払が苦しい。
	(本人からの相談)学生支援機構の担当者から「遅延損害金を早く完済しないと遅延損害金に対する遅延損害金が増える」と説明され驚いている。
	(本人からの相談)生活保護を受けており、返済できないため自己破産を考えている。
	(本人からの相談)低収入のため返済が困難。
	(本人からの相談)就職が決まったばかりで返済できるか不安。
	(保証人からの相談)利用者が滞納しているため、保証人である自分へ督促があったが生活が苦しく、返済できない。
	(本人からの相談)離職し、アルバイト生活になったため収入が減った。今後返済が苦しくなる恐れがあるので、対策を知りたい。
	(本人からの相談)毎月の返済額を減額してもらっているが、非正規職員のため、毎月の返済が苦しい。
(本人からの相談)育児休暇に入るため返還猶予してもらいたい。	
(本人からの相談)収入が減ったので、毎月の返済額を少なくしたい。	
②延滞金が多く困っている	(連帯保証人の妻からの相談)借主が支払をしないため、延滞金が多くなり困っている。
	延滞金が高すぎるため支払が困難。
	延滞金の減免制度の有無と支払猶予制度の内容について知りたい。
③制度上の救済方法を申し込んだが認められない	延滞金があり、遡って猶予を受けることができない。病気のため返済が困難。
④分割返還に応じられない	学生支援機構から裁判予告のはがきが届いたがどうしたらよいか。
⑤貸主・サービサーからの請求が厳しくて困っている	支払いを遅滞したら、サービサーから督促があった。一括返済を考えているが、遅延損害金も払わなければならないのか。
⑥裁判所から支払督促・訴状が送られてきた	督促を受けてから1年経過したが、保証人にも請求がいくのか。
⑦他にも借金を抱えていて払えない	複数から借入をしているため、子どもも産めない。
その他	(元高校教員からの意見)制度内容をきちんと理解していない高校教師が貸付業務の手続を担当するのは問題ではないか。
	(連帯保証人の母親からの相談)奨学金の借主が支払をしなくなったため、連帯保証人である娘に請求が来るようになった。
	繰上返済希望だが、受け付けてもらえるか。利息は軽減されるか。
	無利子保証の決定が通ったが、保証人のなり手がいない。
	奨学金の申込みに当たって注意すべきことはないか。
	第2種奨学金を利用していたが、これを一括返済する場合、利息等はどうか。
	(親からの相談)子どもが利用していた奨学金の残金を支払った場合、贈与税は発生するのか。
	首都圏大学非常勤講師組合でも奨学金問題を重要視しており、集団訴訟を検討中。
詳細不明の団体から奨学金を借り入れたが、途中で打ち切れられ、さらに当該団体関連先への就職・関与を要求されている。	